



株式会社 郵愛

〒151-8502
渋谷区千駄ヶ谷1-20-6
FAX (0120) 779-783

TEL (0120) 025-315 (自動車保険)
(0120) 025-375 (総合保険)
(0120) 025-915 (がん保険)
(0120) 221-220 (医療共済)

節分の「節」は、季節の「節」で、邪気を払う行事



2月に入るとすぐに訪れるのが、「鬼は外、福は内!」という掛け声とともに豆をまく「節分」です。節分は、文字通り「節（季節）を分ける」という意味で、現在では2月の立春の前日だけがクローズアップされていますが、実は季節を分けることから、立春だけではなく立夏、立秋、立冬の前日と、年に4回あります。



2月の「節分」だけが行事として定着したわけは?

年4回ある節分のうち、2月の立春の前日だけが「節分」の行事として全国に広がったのは室町時代といわれています。かつて旧暦では春が新年の象徴だったため、立春前日の「節分」は、現在の大晦日のようなものでした。

昔は季節の変わり目には邪気が入りやすいと考えられていたため、年の変わり目でもある立春前日の節分が、邪気の象徴である鬼（邪気や災（わざわ）いの象徴）を追い払う行事として定着したといわれています。

節分は年によって日が異なり、今年2022年は2月3日（木）です。



どうして豆をまく?

昔の人は形の見えない災害や病気、さらには飢饉など、人に災いを及ぼす現象は恐ろしい鬼の仕業（しわざ）と考えられ、その鬼を追い払うためには、五穀のひとつで、穀霊が宿るとされていた大豆をまく事が効果があると信じられていました。

また、豆の語呂である「魔物を滅ぼす＝魔滅（まめ）」に通じ、煎った大豆（地方によっては落花生など）を使って鬼を払うようになったと伝えられています。

昔から豆はまく前に、柀に入れて神棚に供えようと、神様の力が宿って鬼を追い払う力が増すと伝えられています。神棚がない場合は、南の方角の目線より高い場所に、白い紙を敷いてお供えします。



豆は夜にまくと効果的?

豆まきは、家から鬼を払う意味があるため、家族全員がそろってまくのが良いとされています。また、豆まきは家族全員を厄災から守る行事のため、家族の代表である家長が豆をまくのが良いともいわれ、その年の年男や年女がまくのも吉とされています。

豆まきの方法は、地方や家によって異なりますが、基本的には、窓を開け「鬼は外!」と大きな声で唱えながら外に向かって豆をまき、続けて「福は内!」と室内に豆をまきます。家の奥から順番に、最後は玄関までまいて家中の鬼を追い払います。



「恵方巻(えほうまき)」の向き、2022年は北北西のやや北

福を巻き込んだ太巻き「恵方巻」は関西から広がった風習といわれていますが諸説あります。近年は大量廃棄が問題になるほどに国民的行事となりました。

恵方巻の「恵方」とは、その年の縁起のよい方角のことをさします。その方角を向いて、願い事をしながら恵方巻を丸かじりすると、願い事が叶うといわれ、縁起の良い方角は年によって変わります。

2022年は「北北西のやや北」となっています。恵方巻きは、無言で一気に食べるのが良いとされていますが、喉につかえないよう、飲み物などを用意し、楽しく節分の味覚を楽しんでください!



医療共済「マイガード」2022年4月1日始期契約受付中

「加入申込書到着締切は2月10日(木)必着 締切間近!」

役員勉強会
資料

ご存知 ですか?



「病気・ケガ」の入院・手術補償が充実!

日帰り入院から補償します。しかも1回の入院につき180日限度、通算限度日数は無制限。対象となる手術は「公的医療保険制度の給付対象である手術全般^(※)(約1,000種類)」です。

(※)手術の種類によっては回数の制限があったり、傷の処置、切開術(皮膚、鼓膜)、抜歯等お支払いの対象とならない場合があります。

さらに

マイガードならではの特徴

1

幅広い補償が
40%割引の割安な
掛金で加入できます!

掛金は

40%割引^(※)

(※)団体割引 20%・損害率による割引 25%を適用。

2

組合員ご本人だけでなく、
配偶者・お子様・ご両親・
同居のお孫様も
加入できます!

- 新規加入年齢：満1歳～満74歳まで
- 更新加入年齢：満84歳まで

3

万が一お亡くなりにな
った時にご親族が
負担するお葬式代を
お支払いします!

病気・ケガで死亡し、親族が葬祭費用を負担した場合、葬祭費用保険金額を限度に、実際に負担した費用をお支払いします。

●お亡くなりになった場合、葬祭費用保険金額を限度に親族が負担された葬祭費用の実費をお支払いしますので、実際に要した葬祭費用の領収書等が必要です。

4

「がん」での入院・手術は、
上乗せ補償!^(※1)

10,000円型の場合、入院保険金は1日につき20,000円、手術保険金は最大80万円^(※2)となります。

(※1)入院の日数や手術の内容・種類によっては、上乗せとならない場合があります。

(※2)手術倍率40倍の手術の場合。手術の内容・種類によっては回数の制限があったり、お支払いの対象とならない場合があります。

2022年4月1日補償日より

医療共済

加入しやすくなった

マイガード

告知の引受条件が緩和されました!

3つの告知で
新規加入・増型変更ができます。

下記の3項目すべてが「はい」ならOK!

医療共済「マイガード」健康状態告知ご質問事項

質問 1

今までに「がん」または「上皮内がん」「肉腫」「悪性腫瘍」にかかったことはありません。

質問 2

告知日(ご記入日)現在、病気やケガで入院中、または入院か手術を勧められています。

質問 3

告知日(ご記入日)より過去1年以内に、病気で継続して10日以上以上の入院をしたことがありません。

全て「はい」の方は新規加入・増型変更ができます。

「いいえ」が一つでもある場合は新規加入・増型変更はできません

ご加入後、最初の1年間は始期前発病不担保が適用されます。

2022年度から健康状態告知が簡素化され引き受け条件が緩和されますが、ご加入後最初の1年間は「始期前発病不担保」が適用されます。

始期前発病不担保とは

初年度(最初の)保険契約の支払責任開始日より前に被っているケガまたは病気・症状を原因とする入院等は保険金のお支払い対象とはなりません。ただし、初年度契約の支払責任開始日より前に被っているケガまたは病気・症状を原因とする入院等についても、初年度契約の支払責任開始日から1年を経過した後に開始した入院等については、保険金のお支払い対象となります。更新時に増額の型変更をされた場合も、増額の部分が解除され、増額部分の保険金をお受け取りいただけないことがあります。

花粉症を少しでも和らげる日常の対処方法

日差しが春めいてくる2月はスギやヒノキの花粉症の人には憂鬱な季節の始まりです。花粉症の市販薬を使っている、マスクやゴーグルなどの予防策をしている、事前に医者から薬を処方してもらっているなど、様々な対策をされている方も多いと思います。2人に1人が発症する国民病になった花粉症の基本的な知識と、治療薬以外で、症状を少しでも和らげる日常での対策をご紹介します。

花粉症のメカニズムは？

花粉症とは口や鼻から入ってきたスギやヒノキなどの花粉への免疫反応で鼻水や鼻づまり、涙（充血・かゆみ）の症状をはじめ、皮膚のかゆみ、咳やたん、下痢や食欲不振などの症状を引き起こすアレルギー症状のことです。

メカニズムとしては、花粉（アレルゲン）が鼻腔内の粘膜に付着すると体内に抗体が作られマスト細胞という細胞に結合します。

その後再び花粉が侵入すると、マスト細胞からアレルギー誘発物質が放出されることにより、様々なアレルギー反応が引き起こされます。

鼻と口の2つの侵入経路をふさぐ

花粉のほとんどは鼻と口から体内に侵入してくるため、外出時には花粉に触れないことが大切です。サングラスやメガネ、マスク、帽子、そしてツルツルとした花粉を落としやすい服装を心がけます。

帰宅したら、玄関に入る前に花粉を払い、うがいや顔を洗う習慣をつけましょう。花粉症用のマスクは、正しく装着することで7～8割の花粉の侵入をふせぐことができます。

花粉が飛ぶ日を把握し、粘膜から花粉を取り除く

花粉は特定条件の日に飛散しやすいため、その日の外出を避けるのも効果的です。花粉が飛びやすい条件には気温が高く湿度が低い日、風の強い日、雨の翌日、晴れた日の午後から夕方などがあります。

また、症状緩和には花粉を取り入れないことと同時に、入った花粉を取り除くことも有効です。目の花粉を取り除くには、しっかり洗眼することが大切です。鼻の粘膜の洗浄には鼻うがいも効果的です。

花粉症になる人と、ならない人がいるのはどうして？

花粉症を発症する人は、遺伝的にアレルギー体質であることが主な原因としていわれますが、自律神経を乱す睡眠不足、不規則な生活、ストレスも原因のひとつです。

そのほかの症状緩和の対策

① バランスの取れた食事

栄養バランスのとれた食事をとることが免疫力の向上につながります。乳酸菌や食物繊維で腸内環境を整えることはアレルギーの抑制となります。また脂質のとりすぎは善玉菌を減らす悪玉菌を腸内に増やすため、脂っこいものや肉類はとりすぎないようにします。

香辛料など刺激の強い食物は、鼻の粘膜を刺激するため、アレルギー反応を促進させる恐れがあるので控えます。

② アルコールやタバコを控える

アルコールも花粉症を悪化させる恐れがあります。アルコールの分解時に発生するアセトアルデヒドは、アレルギー症状のもとになるヒスタミンの発生を促します。

また、アルコールは血管を拡張させるため、鼻の粘膜のむくみや鼻づまりを促進させるため、花粉症の季節は酒類の量を抑えることも必要です。

タバコもアレルギー反応を悪化させる要因の一つなので、タバコの煙は鼻の粘膜を刺激し、鼻の症状を悪化させます。

